

***夏休み (LES VACANCES D' ETE)**

7月になりました。地区により時期が多少ずれますが、パリ地区とポルドー地区は、中学が学年末試験の都合で6月24日から、全国的には7月4日のバック(バカロレア:大学入学資格試験(le baccalauréat))の合格発表(今年は670800人が受験、合格率78,9%でした)が済んでから9月2日まで夏休みに入りました。両親や家族の居る地方への里帰りが多く、特にヴァカンスの都度孫達を預かるお祖母ちゃんお祖父ちゃんにとっては大忙しの季節、海や山に近い所は尚の事大変です。孫達が小さいうちはまだしも、大きくなってくると自分達も年をとってきますから、食事の世話だけでも疲れます。正に「孫は来てよし、帰ってよし」です。

www.tesson.info



こうした帰省ラッシュは7月初旬、8月初旬にもみられ、地方へ向う列車や飛行機も混み合い、高速道路も渋滞気味となりますが、8月の場合は7月にヴァカンスへ出た人達がパリへ戻ってきますから両方向が大混雑、9月初旬は地方からパリへの方向に混雑が起こります。その時期を狙って国鉄(SNCF)や航空会社はストライキ(la grève)(最近ではle mouvement socialと云うようです)を決行、駅や空港がより混雑するのですが、皆不満は云っても結局は我慢を強いられて、仕方ないといった表情です。こうした混雑が収まり、完全に休みに入ってしまうえばストもなく、しかし各所で道路や軌道工事が行われ、思わぬ所で車の渋滞に遭ったり、電車やバスで遠回りを余儀なくされたりします。私が利用している郊外電車RERのB線のダイヤは、普段の12分間隔から21分間隔となり、乗客の顔ぶれも変って、耳慣れない外国語も賑やかな車内に夏休みを感じます。我が家の孫はパリ大学第一学部「ラ・ソルボンヌ」の考古学科に在学中(Université Paris I « la Sorbonne », Faculté Archéologie)、この夏休みには実地研修に参加、パリ郊外のオルメソン(Ormesson)で1ヶ月の発掘(la fouille)作業、土日は帰宅が許されているようですが、一体何を掘るのでしょうか。2万年前と4万6千年前の二層の遺跡があるそうです。

***夏祭りあれこれ (LES FESTIVITES ESTIVALES)**

そこはかたなく漂う菩提樹の花(le tilleul)の芳香にクロウタ鳥(le merle)のさえずり、「夏休み」の声と共にあちらこちらで色々な催し物が行われます。

まず「ソルド」(les SOLDES)、どの店もショウウィンドーに“-30%”“-50%”中には“-75%”などと大きく書いて、7月29日迄夏物一掃大売出し。

7月6日からはファッション・ウィーク“オートクチュール2014-2015秋冬物コレクション”の発表(la semaine de la mode haute couture - la collection pour la saison automne-hiver 2014/15)。

イスラム教徒 (les musulmans) は戒律により 6 月末から 7 月 28 日迄 1 ヶ月間 “ラマダン” (le ramadan) と呼ぶ断食と祈り (le jeûne et la prière) の期間。その為仕事を休んだり、出て来ても暑さと空腹で機嫌が良い筈も無く、荒っぽくて困ります。

7 月 2 日から 6 日迄、ドゴール空港の近くヴィルパントのパリ北部展示場 (Parc des expositions Paris-nord Villepinte) では日本紹介行事の一つ、今回で 15 回目を迎えた「日本レジャー・フェスティバル」 (Japan Expo)、いつの頃からか若い人中心のマンガの祭典、“可愛い” 衣装で歌って踊って、日本から参加のスター達に歓声をあげ、今回は伝統芸とロックを合わせて、津軽三味線や箏、和太鼓に尺八などで演奏の「和楽器バンド」が好評、招待出演の Yoshiki Hayashi など、それは賑やかなこと。しかし、この時とばかり “日本” を真似た中国製品を売るアジア人のスタンドが急増、何も知らないフランス人の若者達相手に日本のグッズと称した小物を手広く販売している現実には非難の声も聞こえます。

パリの中心コンコルド広場からルーヴル宮にかけてのパリジャンの散歩道 “チュイルリー公園” には、高さが 65 m の大観覧車 (la grande roue) がゆっくりと回り、回転木馬 (le manège) に綿アメ (la barbe à papa) も懐かしく約 80 軒のゲームやアトラクションのスタンドと売店が並んで 8 月 24 日迄賑やかな夏祭り (la Fête des Tuileries)。



そして日本では「パリ祭」と呼ぶ 7 月 14 日の祭日。1789 年にバスティーユの牢獄から政治犯を釈放して革命が起こり、時の王様ルイ 16 世と王妃マリー・アントワネットと家族、王党一派が捕らえられ、裁判の結果コンコルド広場で市民が見守る中でギロチンにより処刑されたことから「革命記念日」とも、唯「7 月 14 日」(カトールズ・ジュイエ le Quatorze Juillet)、或いは「国民祝日」(la Fête nationale) と呼び方も様々ですが、前日の 13 日は前夜祭として飲み、歌い、踊って、街の消防署を中心に開かれるダンス・パーティは人気があります。14 日当日はパリの舞台シャンゼリゼ大通りで、大統領、政府閣僚、各国外交官など出席の元、凱旋門からコンコルド広場へ向って軍隊や

消防、警察、士官学校などが礼服・制服で行進、戦車や特殊車輛も連ね、空には飛行機の大パレードが繰り広げられ、夜はエッフェル塔をバックに「自由・平等・友愛」(Liberté - Egalité - Fraternité) をテーマに華々しく花火 (le feu d'artifice) が打ち上げられます。



*ツール・ド・フランス (LA TOUR DE FRANCE)

今から 110 年前、1903 年に始まった自転車の大ロードレースは今年第 101 回、バラエティに富んだコースを巡りますが、今回は 7 月 5 日に英国のリーズ(Leeds)をスタート、ケンブリッジ、ロンドンを経てフランスへ渡り、第一次大戦(la guerre de 14-18(1914-1918))100 年を記念して、沢山の戦死者を出し、多くの市民が犠牲となった激戦地帯、ドイツ軍が初めて毒ガス兵器を使ったベルギーのイーブル(Ypres)やアランバール、ヴェルダン(Verdun)などを走って慰霊・追悼を行ってから 7 月 10 日にシャンパーニュ地方のランス、エペルネ、11 日にはロレーヌ地方のナンシー、13 日にはスイス国境近くのミュルーズ、7 月 14 日の祭日も休まずにレースは続けられ、15 日にはブザンソンからサンテチエンヌ、更にグルノーブルからリズールとアルプスの難所を上がり下りしてから南下、20 日には南仏ニーム、21 日城壁都市カルカソンヌから心臓



破りのピレネ山脈を越え、聖地ルルドの近くポーに。その後北上してベルジュラックを経由、26 日ペリグーに達して後は飛行機で一気にパリ郊外エヴリー(Evry)へ飛び、エヴリーから 7 月 27 日の日曜日に最終コースをパリへ向い、セーヌ河沿いにパリ市内へ入り、ルーヴル宮からリヴォリ通り、コンコルド広場を抜けてシャンゼリゼ大通りを凱旋門への上り下りを 8 周してゴール・イン、全行程 3664 km を走破します。レースの TV 中継に毎回映し出される周囲の景色、時には名所旧跡が見られるのも楽しみです。このレースでは興奮剤使用(ドーピング le dopage)が話題になりますが、今回はどうでしょうか。

* (ご注意) メトロ、RER(郊外線) 軌道、橋梁、駅舎などの夏期大工事による運行停止

メトロ 6 号線 = モンパルナス・トロカデロ間 6 月 30 日から 8 月 29 日迄 運行停止

メトロ 1 号線 = ポルト・マイヨール・デファンス間 8 月 15 日から 18 日迄 運行停止

RER C 線 = アンヴァリドー・オステルリッツ駅間 7 月 15 日から 8 月 23 日迄 運行停止

RER A 線 = ヴェジネ・ルペック・サン・ジェルマン・アン・レ間 7 月 14 日から 8 月 22 日迄 運行停止

その他の路線でも、区間により部分的な運行停止や駅の閉鎖などもあります。また道路工事などによりバス路線も迂回や運行停止区間もありますので、どうぞご注意ください。

*2014 年 7 月 5 日(土) Sainte Zoé 日の出 05 時 54・日の入 21 時 56 気温: パリ朝夕 17 °C/日中 22 °C 曇天、ニース 20/25°C 晴天、ストラスブール 18/25°C 晴天 *気温の変化に風邪など召しませんように (管)